平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） ９９ ※記入不要	提案機関名	神奈川県果樹組合連合会

要望問題　クリ果実の簡便で安全な害虫防除技術の確立

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

〈背景〉
品質が優れる中生以降のクリでは、クリシギゾウムシ等の防除のため、収穫直後の薫蒸が不可欠となっていたが、臭化メチルの使用禁止に伴い対応に苦慮している。

〈内容〉
簡易で安全な薫蒸技術の開発及び、薫蒸に替わる防除技術の確立を引き続き要望する。

解決希望年限	①１年以内　[②２～３年以内]　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	[①研究所対応]　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	[①農業総合研究所]（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部　　署：津久井試験場	
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 [⑥現地対応] ⑦実施不可
試験研究課題名	（①、②、④の場合）

対応の内容等

臭化メチルの代替技術については、低温処理や炭酸ガスによる処理、産卵期の農薬散布による防除などが各県で研究されています。しかし、まだ有効な技術としては確立されていません。
今後も、各県の試験研究の情報を収集し、本県に導入可能な方法について現地対応を図って行きます。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	